

お宝発見！びっくり仰天！

先生みーつけた？



新見 康洋

NIIMI, Yasuhiro

物理学専攻 [物性実験]

Character Point !!

学生時代の部活：テニス部

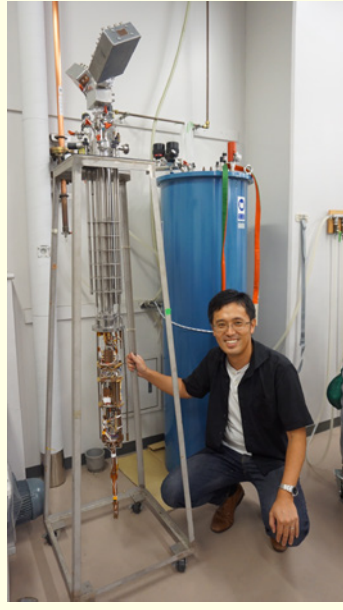
出身：広島県

趣味：20年以上やっていなかったテニスを最近再開

新見研の研究紹介

難しい言葉を使って一言で表すと、「ナノメートルスケールの微小な伝導体に現れる、新奇現象の探索と制御を目的とした研究」です。二次元性の強い物質を微細化し、それらを人工的に組み合わせて発現する新現象の観測を目指しています。物質をどれだけ小さくしていったら面白くなるのか、さらに量子力学的な振る舞いを見るためにはどれだけ温度を低くすれば良いのか、といった研究です。平たく言えば、めっちゃ小さくしてめっちゃ冷やすという研究です。

詳しくは「[新見研ホームページ](#)」をご覧ください！



INTERVIEW 突撃！インタビュー

Q. なぜ物性物理の実験分野へ？



推奨できるかはわかりませんが、実は消去法でした……自分の周りにいる賢い人たちが理論分野に進もうとする中、自分は同じ分野では勝負していけないだろうと感じていました。ある日、物理学実験の授業ではんだ付けをしていた時、自分が一番上手にできたことから、実験分野ならやっていけるんじゃないかと思ったんです。それに加えて、学部三回生の時に液体ヘリウムを使った実験を見せてもらい、その面白さから物性の実験分野に進もうと決めました。なので、自分の実験スタイルは常に「冷やす」ってことを心がけています。



Q. 学生時代の先生はどうでしたか？

特にできた学生でもなく、今思えばすべて中途半端だった気がしますね（笑）。元々数学をやりたいくて大学に入りましたが、気づけば物理にハマっていました。力学でも出てくる微分方程式などをやって、自分が数学と言ってきたのはこの辺のことだったのかと思ったんです。大学ではテニスサークルに入りましたが、一年くらいしか続かなかったですね。ですが最近またテニスを始めて、休日にやっています。



Q. 「ノーベル賞を取りたい」とのことですが……



ノーベル賞を受賞なさった何人かと会ってきましたが、あくまでも同じ人間です。人間が何かを発見して人間が受賞しているもので、決して速く手に届かない存在ではなかった。何かのきっかけで誰でも取るチャンスはあるはずで、皆さん大きく夢を持ってください、というメッセージです。皆さんに取れると信じてください、と言うためには自分も取れると信じてないといけないと思って書きました。



SCHEDULE

とある1日のスケジュール

- 06:00 起床
- 08:00 大学到着・実験室確認・メール対応・最新論文チェック
- 10:00 研究室セミナー
- 12:00 昼食
- 13:30 講義・小テスト採点・院生と打ち合わせ・論文執筆
- 19:30 帰宅・夕食・家事・メール対応・論文執筆
- 23:30 就寝

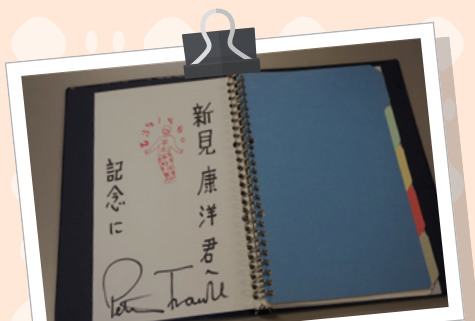
研究室誕生を盛大に祝われたみたいです

先生の実験室！



MY FAVORITE

先生ってどんな人？ 先生のお宝を調査！



大学への数学
入賞サイン



素敵！！
学生からもらった盾



文部科学大臣から
若手科学者賞メダル

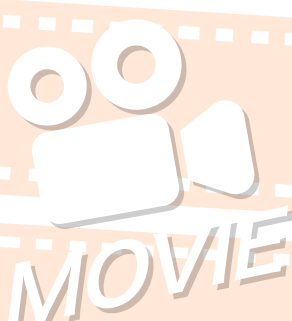
高校生時代に月刊「大学への数学」で入賞した時にもらったピーター・フランクルのサイン。物理を好きになる前の数学、その入り口だそうです。（左）
阪大で教授に昇進した際に当時受け持っていた学生からもらった盾。常に机の上に飾ってあるとのことです。（中央）

MESSAGE

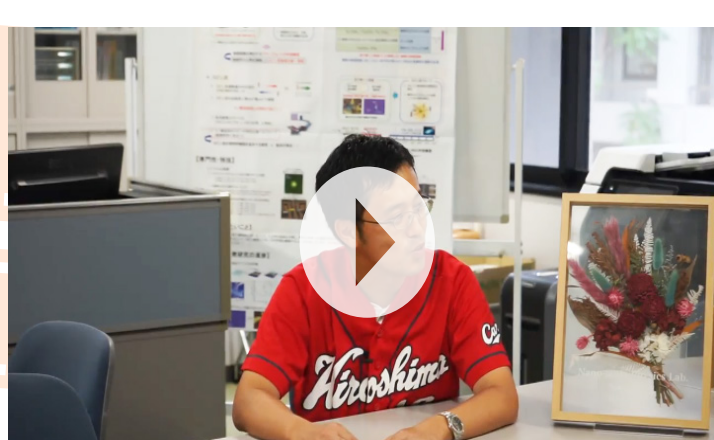
先生から皆さまへ



自分の思ったままに行動をしていけばいいと思います。そして何か成し遂げたいことがあれば、客観的に見て自分に何が足りないのかを判断して補い、その時々に応じて道を選択しなければいけません。ただ「流行っているから」という理由でなく、自分の興味に合っていて、自分の考えにも沿っているような道を選択できる嗅覚を身に付けてもらいたいと思っています。そのためには、ただ勉強するだけではなく、いろんな人と話をすることが重要だと思います。



インタビュー動画
YouTube にて公開中！



編集後記

面白いエピソードをたくさん聞かせていただきました。親しみやすく、子供思いで優しい方だなと思いました。

いくつも貴重なお宝を用意して下さっていて先生の優しさ凄さが滲み出ていました。実験室で撮った先生の顔はより輝いて見えました。

小さく冷たい物を扱う先生の実験室では、大きな装置が使われており、とてもワクワクしました。



物理学科
編集者 T.O

物理学科
編集者 I.H

物理学科
編集者 K.I

Thank you for reading...

インタビュー日 2023.08.18